

11月3日 福島県沖の地震

震央分布図

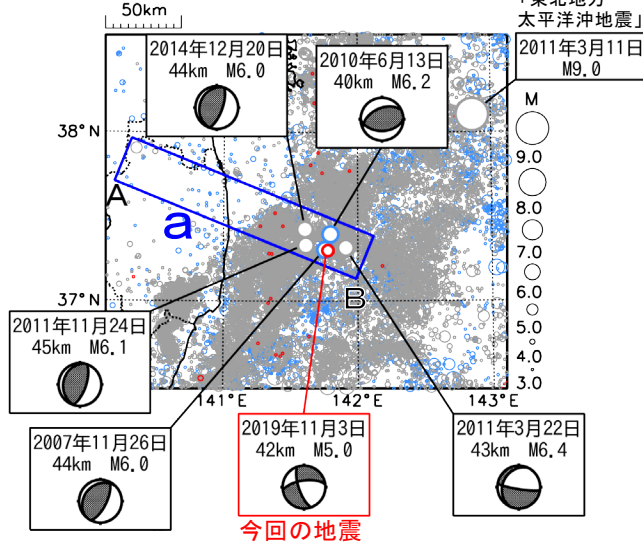
(1997年10月1日～2019年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前の地震を○、

2011年3月11日以降の地震を○、

2019年11月1日以降の地震を●で表示

図中の発震機構はCMT解

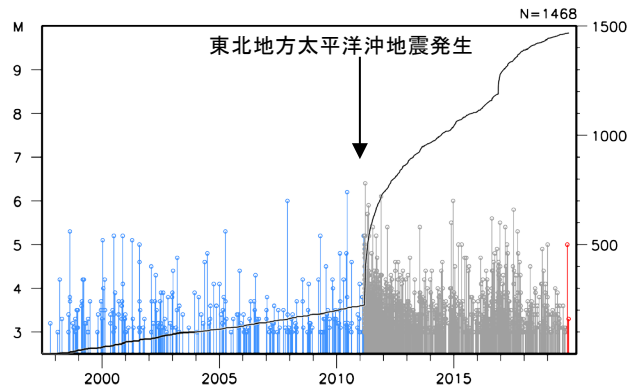


2019年11月3日14時02分に福島県沖の深さ42kmでM5.0の地震 (最大震度3) が発生した。発震機構 (CMT解) は西北西-東南東方向に圧力軸をもつ横ずれ断層型である。

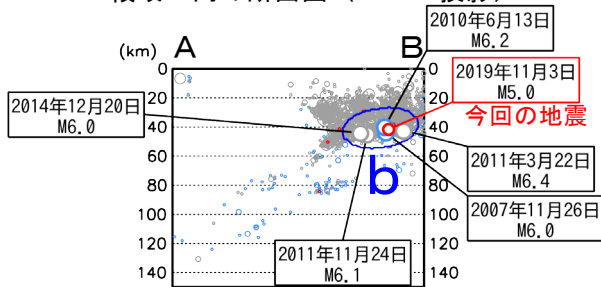
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0を超える地震がしばしば発生している。また、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、「東北地方太平洋沖地震」と記す) の発生以降、それより前と比べ地震活動が活発になった。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日17時43分にM7.5の地震 (最大震度5) が発生した。この地震により、宮城県花淵で113cm (全振幅) の津波を観測した。この地震の後、福島県沖で地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が26回発生し、このうち7回は津波を観測した。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

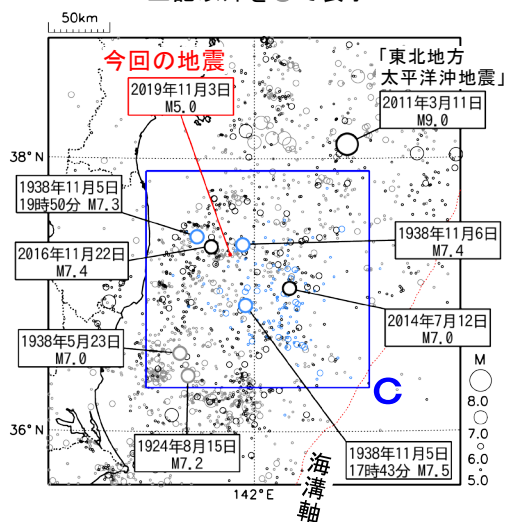
(1922年1月1日～2019年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938年11月5日～11月30日の地震を○、

2011年3月11日以降の地震を○、

2019年11月1日以降の地震を●、

上記以外を○で表示



領域c内のM-T図

